

特別企画：四国地区 紙製品メーカー 主要 20 社 業績動向調査（2017 年度）

売上高合計は過去 5 年で最高も、7 割の企業が減益に

はじめに

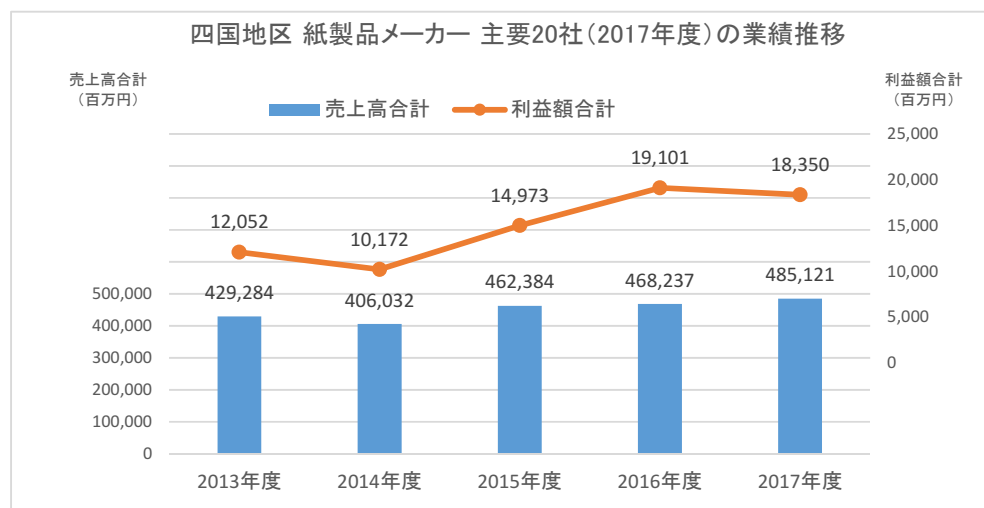
高機能の家庭紙や通販・宅配向け段ボールの需要は堅調に推移しているが、デジタル化・電子媒体の広がり背景として、洋紙の需要は低迷している。紙製品メーカーは高付加価値製品の開発に力を注ぐほか、業界大手においては業務提携などで経営効率化に向かう動きもある。

帝国データバンク高松支店は、2018 年 8 月末時点の企業概要ファイル「COSMOS2」（147 万社収録）のうち、2013 年度（2013 年 4 月期～2014 年 3 月期）から 2017 年度（2017 年 4 月期～2018 年 3 月期）までの決算の年売上高と利益額（当期純利益）が比較可能な、四国地区に本社が所在する紙製品メーカーを抽出。2017 年度の売上高ランキングをもとにした主要 20 社の業績推移を年売上高別、利益額別に分析した。

※分析対象＝TDB 産業分類・中分類で「パルプ・紙・紙加工品製造業」を主業とする企業

調査結果（要旨）

1. 2017 年度の売上高合計は 4851 億 2100 万円
前年度と比べて 168 億 8400 万円増加（3.6%増）し、過去 5 年で最高に
2. 2017 年度の利益額合計は 183 億 5000 万円
前年度と比べて 7 億 5100 万円減少（3.9%減）。7 割の企業が減益に



1. 売上高推移

四国地区に本社が所在する紙製品メーカー主要 20 社について、2013 年度～2017 年度決算の年売上高合計をみると、2017 年度は 4851 億 2100 万円で、前年度と比べて 168 億 8400 万円増加（3.6%増）し、過去 5 年で最高となった。好調なアジア市場に加え、ヘルスケア需要などに対応した高機能の家庭紙や工業用特殊紙を扱う企業が全体を牽引した。

主要 20 社の増減収の内訳をみると、増収の社数は前年度より 4 社多い 13 社となり、減収は 7 社に減少した。

2017 年度の売上高の伸び率について、トップは香川県のユニ・チャーム国光ノンウーヴン（株）で、グループ会社の一部商品の生産を譲受したため売り上げが拡大した。

年度	売上高合計 (百万円)	前年度比 (%)	増減収の社数(前年度比)	
			増収	減収
2013年度	429,284	-	-	-
2014年度	406,032	▲ 5.4	13	7
2015年度	462,384	13.9	16	4
2016年度	468,237	1.3	9	11
2017年度	485,121	3.6	13	7

2. 利益額推移

利益額（当期純利益）合計をみると、2017 年度は 183 億 5000 万円で、前年度と比べて 7 億 5100 万円減少（3.9%減）した。増減益の内訳をみると、増益は前年度より 7 社少ない 6 社にとどまった。一方、減益は 14 社に増加し 7 割の企業が減益となり、過去 4 年で最多となった。原材料高が収益の足かせとなったほか、固定資産の評価見直しにともなう特別損失計上で大幅な最終欠損を出した企業もあった。

2017 年度の利益額の伸び率について、トップは香川県の（株）カナエテクノスで、増収効果に加え、高採算品の受注増加が当期純利益を押し上げた。

年度	利益額合計 (百万円)	前年度比 (%)	増減益の社数(前年度比)	
			増益	減益
2013年度	12,052	-	-	-
2014年度	10,172	▲ 15.6	8	12
2015年度	14,973	47.2	14	6
2016年度	19,101	27.6	13	7
2017年度	18,350	▲ 3.9	6	14

まとめ

四国地区に本社を置く紙製品メーカー主要 20 社の 2017 年度の売上高合計は、過去 5 年で最高となった。一方、7 割の企業が前年度比で減益となり、利益額合計は 3 年ぶりに減少した。主要 20 社の売上推移の内訳は、増収が 13 社に対して減収は 7 社だった。利益推移の内訳は、増益が 6 社に対して減益は前年度比で倍増の 14 社となり、減益の社数は過去 4 年で最多となった。

ペーパーレス化で洋紙需要が落ち込むなか、四国地区の紙製品メーカーは高付加価値の家庭紙や紙加工品への注力等で売り上げを伸ばしてきた。他方、原材料や燃料費の上昇が続いているうえ、人手不足への対応も喫緊の課題となっている。原材料の調達コストを大きく左右する為替相場の推移も含めて今後の動向を見守りたい。

＜参考＞

四国地区 紙製品メーカー 主要20社 2017年度売上高ランキング

(単位:百万円)

順位	商号	所在地	年売上高 (2017年度)	前年度比 増減
1	ユニ・チャームプロダクト 株式会社	香川県	154,629	↑
2	丸住製紙 株式会社	愛媛県	63,239	↓
3	エリエールプロダクト 株式会社	愛媛県	50,720	↓
4	株式会社 リブドゥコーポレーション	愛媛県	44,241	↑
5	愛媛製紙 株式会社	愛媛県	25,135	↓
6	ユニ・チャーム国光ノンウーヴン 株式会社	香川県	18,334	↑
7	大塚包装工業 株式会社	徳島県	15,315	↑
8	ニッポン高度紙工業 株式会社	高知県	13,894	↑
9	新タック化成 株式会社	香川県	13,200	↑
10	阿波製紙 株式会社	徳島県	12,861	↓
11	明星産商 株式会社	高知県	11,072	↓
12	昭和紙工 株式会社	香川県	9,323	↑
13	株式会社 トーヨ	愛媛県	9,310	↓
14	株式会社 丸和	愛媛県	8,675	↓
15	三木特種製紙 株式会社	愛媛県	6,539	↑
16	株式会社 カナエテクノス	香川県	6,401	↑
17	エヌ・アンド・イー 株式会社	徳島県	6,140	↑
18	株式会社 朝日段ボール	香川県	5,974	↑
19	三昭紙業 株式会社	高知県	5,159	↑
20	愛媛小林製薬 株式会社	愛媛県	4,960	↑

【 内容に関する問い合わせ先 】

株式会社帝国データバンク 高松支店 担当：横井幸一郎、青木真人

TEL：087-851-1571 FAX：087-851-3837

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。